

| | | |
|-------|-------------|--|
| 事務事業名 | 市民自治推進委員会経費 | |
|-------|-------------|--|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ |
|--------|-----|-----------------------|-----------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 市民生活部市民協働G |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 一般会計 |
| 施策 | 1 | 協働の仕組みの醸成 | 平成28年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 市民と行政がともに取り組むまちづくりの推進 | 終了年度 平成 ー 年度 |
| 主要な施策 | 2 | 市民参画の仕組みの構築 | 事業区分 ソフト事業 |
| | | | 大型事業推進プラン 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 「登別市まちづくり基本条例」の目的を達成するために、市民自治推進委員会を設置し、市民と行政による協働のまちづくりを推進することを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|-------------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 全部会共通のテーマである「健康」について、各部会において取り組む。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 協働のまちづくりを推進するため、市民自治の推進に関する事、市民と市の協働のあり方に関する事、市の進める事務・事業に関する事、登別市まちづくり基本条例の見直しに関する事等について協議する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市まちづくり基本条例、登別市市民自治推進委員会設置要綱、登別市協働推進庁内委員会設置要綱 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民自治推進委員会等 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 合計 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 各部会共通のテーマを「健康」とし、第3期基本計画を基に具体的な取り組みについて議論し、各部会に所属する各団体が持つ特性と行政による協働のまちづくりの推進を図った。 【各部会の取り組みについて】 ○ぬくもり部会…特定健診の受診率向上のための取り組み ○防災・環境部会…ウォーキングマップを活用した災害時の避難経路のウォーキングに向けた取り組み ○産業躍動部会…地場産食材を利用した料理教室の実施に向けた取り組み ○都市調和部会…『きらり健康ふれあいウォーキングマップ』のリニューアル ○育み部会…公園の利活用 ○まちづくり部会…ロコモティブシンドロームの予防に向けた取り組み | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 市民自治推進委員会開催回数 | 回 | - | - | - | 53 | 36 |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市民自治推進委員会の取り組みに係る市民への周知や市民自治推進委員会に所属する各団体間及び各団体と市民活動団体との更なる連携を図ることが必要である。 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|---|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に1度は広報紙で周知する。 市が取り組む大きなテーマ（市庁舎の建て替えなど）については、市民自治推進委員会に事前に情報提供する。 | 市民自治推進委員会に所属する各団体間や各団体と市民活動団体との連携を図り、市民自治の理念により、主体的な協働のまちづくりへの参画に向け活動する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 左記の今後の取組を実施する。 「健康」をテーマとして進めているが、市民自治推進委員会として一定の目的が達成されたと判断された場合は、市民と行政による協働のまちづくりを推進するための新たな取り組みについて協議を重ね、継続して活動を行う。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 登別市名誉市民及び功労者表彰・市表彰事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 昭和 52 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|---|------|----|
| 目的 | 市民の総意による感謝の反映として、市勢の発展に寄与した方などの功績をたたえることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|---|------|----|

| | | | |
|------------|----|--|--|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 推薦された候補者を市の表彰者として適切かどうか委員会に諮問し、相応しい者を表彰する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・7月上旬頃 候補者を全庁に照会をかけて把握する。 ・10月中理事者協議後、功労者表彰推薦委員会に諮問し表彰者を決定する。 ・11月3日表彰式 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市功労者表彰条例、登別市功労者表彰条例施行規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市勢の振興発展に寄与した方や、本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等に顕著に功績があった方（登別市功労者表彰条例） |

| Plan ↓ Do 事業費（財源内訳） | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|------------------------------|-------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 地方債 | | 千円 | | | | | |
| | その他 | | 千円 | | | | | |
| | 一般財源 | | 千円 | 2,144 | 1,507 | 2,733 | 652 | 2,569 |
| 合計 | | | | 2,144 | 1,507 | 2,733 | 652 | 2,569 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・7月上旬頃 候補者を全庁に照会をかけて把握した。 ・10月中理事者協議後、功労者表彰推薦委員会に諮問し表彰者を決定した。 ・11月3日表彰式 市勢の振興発展に寄与した方や本市の自治、社会、産業、教育文化、体育等に顕著な功績があった方を表彰した。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 表彰回数 | 回 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| | | |
|-----------------|--------|------------------------------------|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし |
|-----------------|--------|------------------------------------|

| | | | |
|--------|--------|-----------------------------------|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 市勢発展へ寄与された方などの功績をたたえるため、引き続き実施する。 | 目標 推薦された候補者を市の表彰者として適切かどうか委員会に諮問し、相応しい者を表彰する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・7月上旬頃 候補者を全庁に照会をかけて把握する。 ・10月中理事者協議後、功労者表彰推薦委員会に諮問し表彰者を決定する。 ・11月3日表彰式 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

| | |
|-------|---------------|
| 事務事業名 | コミュニティ助成事業補助金 |
|-------|---------------|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民協働G |
|--------|-----|----------------------|-----------|------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 8 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 市民団体に対して、活動に必要な経費の一部を補助することにより、コミュニティ活動の促進を図ることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|---|--------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 事業を通じ、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目指す。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、市民団体に対して活動に必要な経費の一部を補助する。 ・一般財団法人自治総合センターから本助成事業の実施案内を受け、広報のほりべつ及び市ホームページで周知を行う。 ・複数の団体から申請希望があった場合、市で設定しているコミュニティ助成事業申請団体選定基準により選定し申請を行う。 ・採択された事業を行う市民団体に対して活動に必要な経費の一部を補助する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 一般財団法人自治総合センターコミュニティ助成事業実施要綱、 登別市補助金等の事務取扱に関する規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 若緑町内会 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|-------------------|----|-------|-----|-------|-------|-------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | 自治総合センターコミュニティ助成金 | 千円 | 1,600 | 0 | 1,500 | 1,500 | 1,900 |
| 一般財源 | | 千円 | | | | | |
| | 合計 | | 1,600 | 0 | 1,500 | 1,500 | 1,900 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、市民団体に対して活動に必要な経費の一部を補助した。 【補助実績】 ・補助対象団体 若緑町内会 ・補助事業の内容 若山浄化センターパークゴルフ場の備品購入事業 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 助成件数 | 件 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・本事業の募集について、新規で希望する団体が増えることで市民団体の活動が活発になるため、より多くの市民団体に本事業を活用してもらえるよう、周知方法を検討する必要がある。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|----|--------|---|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 住民団体にコミュニティ助成事業の周知を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図る。 | 目標 事業を通じ、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目指す。 計画 地域社会の発展と、住民福祉の向上のためコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ活動の促進を図る。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 継続 | 【3次評価】 | 総合 | |

事務事業名 市民活動センター運営管理経費

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民協働G |
|--------|-----|----------------------|-----------|------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成22年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 指定管理者による市民活動センターの運営を通じ、市民活動の総合的な促進を図ることを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|--------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民活動センターにおいて、指定管理者が適切に維持管理等を行う。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 施設の維持管理等を行うための委託料の支払いや、施設の細かな問題等について指定管理者と密に連絡を取りながら連携していく。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市市民活動センター条例 登別市市民活動センター条例施行規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 指定管理者 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|---------------------|--|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 国庫支出金 | | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | | 千円 | | | | | |
| その他 | ふるさとまちづくり応援基金積立金繰入金 | | 千円 | 837 | 837 | 556 | 556 | 3,500 |
| 一般財源 | | | 千円 | 14,555 | 14,420 | 14,836 | 14,740 | 11,892 |
| | 合計 | | | 15,392 | 15,257 | 15,392 | 15,296 | 15,392 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|---|---------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 指定管理者による施設の管理運営により、市民活動団体のニーズ等の把握に努めるなど、民間の活力を最大限生かしながら市民活動の促進を図った。 【指定管理者】 特定非営利活動法人おにスポ 【指定管理期間】 平成25年度～平成29年度 【事業実績】 | | | | | | |
| | | 区分 | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 | | | |
| | | 利用者数 | 17,705人 | 17,647人 | 16,390人 | | | |
| | | 登録団体数 | 181団体 | 191団体 | 147団体 | | | |
| | | 【主な事業】 | ・市民活動の相談・のぼりん通信やのぼりんトピックスの発行、ホームページ、フェイスブック等を活用した各団体やイベント情報等の紹介 ・人材育成のための実践体験（市内中学生延べ43人参加）・のぼりん文化講座（56回開催、延べ411人参加）・のぼりんナイトカルチャー（99回開催、延べ520人参加）・市民活動の紹介・展示・市民活動交流フェスタ（2月26日開催、30団体、約450人参加） | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 登別市市民活動センター利用者数 | 人 | 13,614 | 16,390 | 17,647 | 17,705 | 18,000 |
| | | 登別市市民活動センター利用団体登録数 | 団体 | 147 | 147 | 191 | 181 | 200 |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市民活動団体等が活用できる補助金等制度の周知方法について、施設内に配置するだけではなく、指定管理者が該当する団体等に声掛けをし、より多くの団体等が活用できるようにすることが必要である。 市民活動センターが地域の課題解決に向け、利用する団体同士や団体と地域とのマッチングなど、中間支援を促進する必要がある。 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|--|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 平成29年度で指定管理期間が満了することから、次期指定管理者の選定に向けた準備等を行わなければならない。 | 目標 指定管理者による適切な維持管理及び指定管理者と密に連絡をとるなど、連携強化を図るとともに、指定管理者の選定事務を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 左記の今後の取組を実施し、並行して指定管理者と密に連絡を取りながら、市民活動センターを運営管理していく。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 登別市民憲章推進事業補助金

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民協働G |
|--------|-----|----------------------|-----------|------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 昭和 43 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|---|------|----|
| 目的 | 市民が郷土を愛し、より豊かな郷土づくりを目指すため、登別市民憲章に掲げる理念の普及を図ることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|---|------|----|

| | | | |
|------------|----|--|--------------------------------------|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市民憲章推進協議会が実施する市民憲章の普及、啓発等の活動を支援する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 登別市民憲章推進協議会が実施する啓発物品の配布など市民憲章の啓発活動に対し、補助金を交付する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市補助金等の事務取扱に関する規則、登別市民憲章推進事業補助金交付要綱 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市民憲章推進協議会 |

| Plan Down 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|---------------------------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |
| | 合計 | | 150 | 150 | 150 | 150 | 150 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 啓発物品等の配布活動など、市民憲章の啓発活動を実施する登別市民憲章推進協議会に対し、補助金を交付する。 【協議会の事業内容】 ・市民憲章制定日にちなんだ啓発活動の実施 ・啓発物品の作製、配布 ・小学4年生を対象とした啓発標語コンクールの実施 ・広報のぼりべつを活用した市民憲章の周知及び啓発 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 啓発人数 | 人 | 1,200 | 1,200 | 1,340 | 1,315 | 1,200 |

| | | |
|-----------------|--------|--|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 子ども向けの啓発活動を積極的に取り組むため、学校との更なる連携が必要になる。 |
|-----------------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|--|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | <ul style="list-style-type: none"> 登別市民憲章推進協議会と連携し、市民憲章の普及、啓発活動を支援を継続する。 登別市民憲章推進協議会と学校の連絡調整を行う。 | 目標 登別市民憲章推進協議会が実施する市民憲章の普及、啓発等の活動を支援する。 計画 登別市民憲章推進協議会が実施する啓発物品の配布など市民憲章の啓発活動に対し、補助金を交付する。 また、平成30年に市民憲章制定50周年を迎えるため、記念事業の実施等について登別市民憲章推進協議会と協議を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 市民憲章推進事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ |
|--------|-----|----------------------|-----------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 市民生活部市民協働G |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 一般会計 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 平成28年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 終了年度 平成 ー 年度 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 事業区分 ソフト事業 |
| | | | 大型事業推進プラン 非登載事業 |

目的 市民が郷土を愛し、より豊かな郷土づくりを目指すため、登別市民憲章に掲げる理念の普及を図ることを目的とする。

前回評価

| | | | |
|----|----|---|---|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民が市民憲章に触れる機会を増やすことにより、市民憲章の普及を図る。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【主な実施内容】 ・市民憲章掲示板の新設：市民活動センター内 ・市民憲章掲示板の修繕：美園児童センター、鷺別公民館、郷土資料館 ・市民憲章啓発物品の作製、配布 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民活動センター、美園児童センター、鷺別公民館、郷土資料館、市民 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | - | - | 282 | 227 | 214 |
| | 合計 | | 0 | 0 | 282 | 227 | 214 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 市民憲章の普及を図るため、次の事業を実施した。 【事業実績】 ・市民憲章掲示板の新設：市民活動センター内 ・市民憲章掲示板の修繕：美園児童センター、鷺別公民館、郷土資料館 ・市民憲章啓発物品の作製、配布 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 市民憲章啓発の機会（回数） | 回 | - | - | - | 13 | 13 |

課題等の状況 平成28年度 市民憲章の認知度をより向上させるため普及していく必要がある。

| | | | |
|--------|--------|--|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 目標 |
| | 継続 | ・市が主催するイベント等で啓発物品を配布するとともに、唱和等を行い、登別市民憲章推進協議会と連携し、より多くの市民に対し市民憲章の普及、啓発等を図る。 ・また、必要に応じ、市民憲章掲示板の新設や修繕を実施する。 | 市民が市民憲章に触れる機会を増やすことにより、市民憲章の普及を図る。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 【主な実施内容】 ・市民憲章掲示板の新設 ・市民憲章掲示板の修繕 ・市民憲章啓発物品の作製、配布 |
| 【3次評価】 | 総合 | | 計画 |

| | |
|-------|--------------|
| 事務事業名 | 登別市連合町内会助成事業 |
|-------|--------------|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民協働G |
|--------|-----|----------------------|-----------|------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 8 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|---|------|----|
| 目的 | 単位町内会などの意見・意思を集約する連合町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進することを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|---|------|----|

| | | | |
|----|----|---|-----------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 住みよいまちづくりのために活動している連合町内会に対し、資金の一部を助成する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【連合町内会が実施する事業】 ・定期総会、三役会、各種事業部会の開催 ・花いっぱい運動・クリーン作戦の実施 ・防災・防犯及び交通安全の啓発運動 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市連合町内会 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 2,400 |
| | 合計 | | | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 2,400 | 2,400 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------------|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 単位町内会と11地区の連合町内会を取りまとめる統括組織である登別市連合町内会に対して、その活動費の一部を助成した。 【連合町内会の主な事業】 ・町内会共催事業の推進 ・各種研修会の開催及び参加促進 ・花いっぱい運動 ・クリーン作戦の実施 ・防災、防犯及び交通安全啓発運動の推進 ・連合町内会運営等 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 役員会等の開催数(総会、三役会、役員会、事業部会、各種意見交換会) | 回 | 35 | 39 | 32 | 28 | 40 |
| | 町内会役員等の研修参加数 | 人 | 393 | 528 | 450 | 474 | 400 | |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市民と行政の協働のまちづくりを推進するため、町内会未加入世帯への加入促進をする必要がある。 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 今後も市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進するため、連合町内会の活動を支援していく。 | 目標 住みよいまちづくりのために活動している連合町内会に対し、資金の一部を助成する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 【各種事業の実施】 ・町内会共催事業の推進 ・各種研修会の開催及び参加促進 ・花いっぱい運動 ・クリーン作戦の実施 ・防災、防犯及び交通安全啓発運動の推進 ・連合町内会運営等 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 町内会運営費助成事業

| | | | | |
|--------|-----|----------------------|-----------|------------|
| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民協働G |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 昭和 43 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

目的 町内会の活動を支援することにより、市民と行政の協働による住みよいまちづくりを推進することを目的とする。

前回評価 維持

| | | | |
|----|----|---|--------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 住みよいまちづくりのために活動している町内会等に対し、資金の一部を助成する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 【28年度町内会運営助成金計画】 ・団体割 2,850,000円 95町内会 × 30,000円 ・世帯割 8,850,000円 17,700世帯 × 500円 ・防犯灯割 24,822,000円 31,027,721円 × 4/5 ・会館割 960,000円 8会館 × 120,000円 合計補助額 37,482,000円 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市町内会等の補助金等の交付に関する規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 各町内会等 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 34,439 | 35,519 | 37,482 | 35,042 | 35,135 |
| | 合計 | | 34,439 | 35,519 | 37,482 | 35,042 | 35,135 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|-------------|-------------|--------|--------|--------|--------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 地域の発展を目的に活動する町内会、町会、自治会に対して、その運営費や市行政に協力するための活動費の一部を助成した。 | | | | | | |
| | | 【助成実績】 | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 | | | |
| | | 【交付団体数】 | 94町内会等 | 94町内会等 | 94町内会等 | | | |
| | 【団体割】 | 2,790,000円 | 2,790,000円 | 2,790,000円 | | | | |
| | 【世帯割】 | 8,781,000円 | 8,885,000円 | 5,367,900円 | | | | |
| | 【防犯灯割】 | 22,804,700円 | 23,187,400円 | 20,747,500円 | | | | |
| | 【会館割】 | 665,800円 | 656,500円 | 657,900円 | | | | |
| | | ※平成27年度より世帯割を1世帯当たり300円から500円に増額した。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 助成した町内会等数 | 町内会等 | 94 | 94 | 94 | 94 | 96 |
| | | 町内会加入世帯数 | 世帯 | 18,002 | 17,834 | 17,770 | 17,562 | 18,000 |

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 今後も地域の活性化とともに行政との協働関係の構築を目指すため、町内会の運営を助成していく。 | 目標 住みよいまちづくりのために活動している町内会等に対し、資金の一部を助成する。 計画 町内会からの申請を受け助成金を支給する。 【助成金の内容】 ・団体割 ・世帯割 ・防犯灯割 ・会館割 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 登別温泉ふれあいセンター運営管理経費

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部登別温泉支所 |
|--------|-----|----------------------|-----------|-------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 15 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|---|------|
| 目的 | 市民の福祉の増進及び健康で文化的な地域社会の形成と発展を図ることを目的とする。 | 前回評価 |
|----|---|------|

| | | | |
|------------|----|---|-----------------------|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の福祉の増進及び健康で文化的な地域社会の形成と発展を図り、施設の運営管理を行う。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 支所や図書館機能、情報コーナーのインフォメーション機能などを備えた、多目的な公共施設として設置した登別温泉ふれあいセンターの運営及び維持管理を行う。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別温泉ふれあいセンター条例 登別温泉ふれあいセンター条例施行規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|--------|--------|-------|-------|-------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 14,480 | 13,660 | 9,860 | 9,511 | 9,704 |
| 合計 | | | 14,480 | 13,660 | 9,860 | 9,511 | 9,704 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 支所や図書館機能、情報コーナーを備え、多目的な公共施設として運営及び維持管理を行った。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | | | | | | | |

| | | |
|-----------------|--------|---|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 施設の老朽化への対応。 |
|-----------------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|------------------------------|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 施設の老朽化に伴う改廃を含め、施設の在り方の検討が必要。 | 目標 市民の福祉の増進及び健康で文化的な地域社会の形成と発展を図り、施設の運営管理を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 支所や図書館機能、情報コーナーのインフォメーション機能などを備えた、多目的な公共施設として設置した登別温泉ふれあいセンターの運営及び維持管理を行う。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 若草つどいセンター・富浦会館等運営管理経費

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民協働G |
|--------|-----|----------------------|-----------|------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 ー 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|---|------|--|
| 目的 | 明るく住み良い地域社会づくりの推進及び地域住民の生活文化の振興と住民福祉の増進を図ることを目的とする。 | 前回評価 | |
|----|---|------|--|

| | | | |
|----|----|--|-----------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 指定管理者による、施設の円滑な運営管理を支援する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 指定管理者への委託により施設の運営管理を行う。 【指定管理者の業務内容】 ・施設の使用許可に関すること ・施設の維持管理に関すること ・施設及び付属設備の清掃及び補修に関すること ・備品の管理に関すること 等 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市若草つどいセンター条例、登別市若草つどいセンター条例施行規則、登別市会館条例、登別市会館管理規則 | (ハード事業の場合は、施設名を記入) 指定管理者 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | 3,258 | 3,235 | 3,772 | 3,500 | 3,415 |
| 合計 | | | | | | | | |
| | | | | 3,258 | 3,235 | 3,772 | 3,500 | 3,415 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 指定管理者への委託により次の内容の施設運営管理を行った。 【指定管理者の業務内容】 ・施設の使用許可に関すること ・施設の維持管理に関すること ・施設及び付属設備の清掃及び補修に関すること ・備品の管理に関すること 等 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 利用者数 | 人 | 43,041 | 40,499 | 36,414 | 34,651 | 35,000 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 【若草つどいセンター】 管理に係るボランティアの担い手が不足してきているため、運営管理について検討が必要である。 【会館】 富浦会館の指定管理者である町内会が休会中のため、市が直営で管理している状況である。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|--|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 指定管理施設については、円滑な運営管理を支援する。 また、直営施設については、適正な管理に努める。 | 目標 指定管理施設については、円滑な運営管理を支援する。 また、直営施設については、適正な管理に努める。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 指定管理者への施設の運営委託については次のとおりとする。 【指定管理者の業務内容】 ・施設の使用許可に関すること ・施設の維持管理に関すること ・施設及び付属設備の清掃及び補修に関すること ・備品の管理に関すること 等 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 **のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業**

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 都市整備部土木・公園G |
|--------|-----|----------------------|-----------|-------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 17 年度 |
| 施策 | 2 | まちづくり活動の推進 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 多彩なまちづくり活動の支援 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 団体間の連携によるまちづくり活動の活性化 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--------------------------------|------|-----------|
| 目的 | 市民との協働できれいなまちづくりを推進することを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--------------------------------|------|-----------|

| | | | |
|------------|----|---|--|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民との協働できれいなまちづくりを推進する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・各参加団体から、清掃等に必要の用具等の申込みを随時受け付ける。 ・広報のぼりべつに「のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業」への参加募集について掲載する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業実施要綱 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業実施要綱に規定される里親 (2名以上で構成される団体) |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 411 | 404 | 405 | 331 | 378 |
| 合計 | | | 411 | 404 | 405 | 331 | 378 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・2名以上で構成する団体が道路・公園・河川敷など公共施設の里親となり、清掃や美化のボランティア活動を行うアダプトプログラムを実施し、実施に必要な清掃用具、草刈用消耗品、花壇や植樹樹の手入れ・除草用具、ゴミ袋等を提供した。 ・広報のぼりべつ9月号に事業への参加募集について掲載した。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 参加団体数 | 団体 | 42 | 50 | 46 | 45 | 45 |
| | | 参加人数 | 人 | 628 | 717 | 671 | 667 | 667 |

| | | |
|-----------------|--------|---|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・参加団体によって活動状況にばらつきがあった。 |
|-----------------|--------|---|

| | | | |
|-----------|-----------|---|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 目標 市民との協働できれいなまちづくりを推進する。 |
| | 継続 | ・活動をあまり行っていない団体もあるので、より積極的に美化・清掃活動を行ってもらえるよう周知する。 | |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 継続 | 【3次評価】 | 総合 | 計画 |

| | |
|-------|-------|
| 事務事業名 | 広報等経費 |
|-------|-------|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 昭和26年度 |
| 施策 | 3 | 協働のまちづくりを支える啓発の推進 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 情報の公開と広報広聴活動の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 広報広聴活動の推進 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|---|------|----|
| 目的 | 市民の声やニーズを的確にとらえ、市政に反映させるよう努めるとともに、市政情報を総合的に提供することにより、市民参加のまちづくりを推進する。 | 前回評価 | 維持 |
|----|---|------|----|

| | | | |
|----|----|--|-----------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市政情報の提供を行うため、広報紙の発行（毎月）等を行うほか、市政への市民の声を聞くため、市長室フリータイムなどを実施する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・広報のぼりべつを毎月発行する ・市民便利帳を発行する ・広報モニターに広報のぼりべつのアンケートを実施する ・市職員出前フリートークや市長室フリータイムの実施する | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市広報紙発行規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|------------|----|----|--------|-------|--------|--------|--------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | 広報紙等広告掲載収入 | 千円 | | 1,701 | 2,012 | 2,380 | 3,027 | 2,380 |
| 一般財源 | | 千円 | | 11,322 | 4,811 | 11,473 | 10,120 | 12,378 |
| | 合計 | | | 13,023 | 6,823 | 13,853 | 13,147 | 14,758 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--|--|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・広報のぼりべつを毎月発行した ・市民便利帳（NTTタウンページ㈱との官民共同事業により電話帳との合冊版）を制作した（8月発行） ・市職員出前フリートークや市長室フリータイムの実施した ・広報モニター（市民）による広報のぼりべつアンケート評価を実施し、広報紙の改善を図った 平成27年度まで当事業で行っていた「地区懇談会」及び「地区課題要望」については、平成28年度以降は他事業で行うこととしている。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 広報紙掲載記事数 | 件 | 1,035 | 1,074 | 1,034 | 1,200 | 1,200 |
| | 広聴活動件数（地区懇談会、地区課題要望、市長室フリータイム、市職員出前フリートーク、苦情処理件数の累計） | 件 | 159 | 299 | 274 | 148 | 148 | |
| | 広報のぼりべつを見やすいと感じる人の割合（H26:市民ニーズアンケート調査、H27:まちづくり意識調査） | % | - | 89 | 85 | - | - | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 広報紙やウェブサイトについては一定程度の効果をあげていると考えているが、速報性のあるSNS（フェイスブック）については、登録者数を増やし、より効果的に情報を伝えるため、投稿数の増加や、魅力ある情報を発信など、更なる活用を図る必要がある。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 広報紙やウェブサイトなど、さまざまな媒体を活用し市政情報を発信するとともに、広報モニターや市民の意見を伺いながら、より見やすい広報紙やウェブサイトの作成に努める。また、市長室フリータイム、市職員出前フリートークなど、市民との対話の機会の確保に努める。 | 目標 市政情報の提供を行うため、広報紙の発行（毎月）等を行うほか、市政への市民の声を聞くため、市長室フリータイムなどを実施する。 計画 ・広報のぼりべつを毎月発行する ・市民便利帳を発行する ・広報モニターに広報のぼりべつのアンケートを実施する ・市職員出前フリートークや市長室フリータイムの実施する ・SNSの更なる活用を図る |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 継続 | 総合 | |

| | | |
|-------|-------------|--|
| 事務事業名 | まちづくり意識調査事業 | |
|-------|-------------|--|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 1 | 協働のまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成28年度 |
| 施策 | 3 | 協働のまちづくりを支える啓発の推進 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 情報の公開と広報広聴活動の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 広報広聴活動の推進 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 第2期基本計画の総括として、政策・施策・事務事業などに対する市民の満足度や重要度などの評価を調査するとともに、平成28年度は第3期基本計画の初年度にあたるため、今後、市が行う事業の検証や新たなニーズに応える施策立案のための資料として、網羅的に把握することを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|----------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成27年度で終了する第2期基本計画の総括として、政策・施策・事務事業などに対する市民の満足度や重要度などを把握するとともに、平成28年度を初年度とする第3期基本計画に基づく政策・施策・事務事業の検証や新たなニーズを把握する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) これまで実施していた『まちづくり意識調査事業』と『市民ニーズアンケート調査事業』を、『まちづくり意識調査事業』として統合し、総合計画・基本計画で掲げた市の政策・施策について、市民の意識を調査する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) まちづくり意識調査（平成28年度調査）実施要領 | 対象 市民 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | 815 | 712 | |
| | 合計 | | 0 | 0 | 815 | 712 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・市内に居住する20歳以上の方から5,000人を無作為に抽出して調査票を郵送し、市の政策・施策・事務事業への満足度や重要度、市民のニーズなどを一体的に調査した。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 調査票回収率（回答者数／調査票発送件数） | % | | | | 35.8 | - |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市民のニーズ等を的確に把握するため、多くの質問項目を設定する必要があるが、多くの市民から回答を得ることも重要なため、調査回答に係る負担を減らすことも考慮する必要がある。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|--|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 平成31年度に改めて、政策・施策・事務事業などに対する市民の満足度や重要度などを把握するとともに、第3期基本計画に基づく政策・施策・事務事業の検証や新たなニーズを把握する。 | 目標 調査結果を参考に、政策・施策・事務事業の検討を行い、また平成31年度の実施に向けて、調査方法や調査項目の精査等を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・調査結果をもとに、必要があれば、現在行っている政策・施策・事務事業等の見直しを行う。 ・調査結果をもとに、市民のニーズを捉え、新たな政策・施策・事務事業を策定する。 ・平成31年度の実施に向けて、調査方法や調査項目を精査する。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 登別・白石・海老名姉妹都市交流事業

| | | | | |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 23 年度 |
| 施策 | 1 | 国内における交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 国内のさまざまな地域との交流の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 2 | 姉妹都市交流等の推進 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|-----------------------------------|------|----|
| 目的 | 宮城県白石市、神奈川県海老名市との友好交流を図ることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|-----------------------------------|------|----|

| | | | |
|----|----|--|--|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民レベルでの友好交流を推進し、姉妹都市である3市間の関係性をより強固にする。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 物産展への支援などを行うとともに、民間交流事業を行っている登別市姉妹都市等都市間交流協会に対して補助金を交付する。 【市の事業内容】 ・本市で開催される白石市及び海老名市の物産展への支援や2市で開催される登別市物産展への支援及び行事への職員の派遣 【交流協会の事業内容】 ・小学生絵画作品交流展 ・少年スポーツ交流事業 ・ふるさと豆記者交流事業 ・ふるさとのまちを語る交流事業 ・姉妹都市親善水泳大会 ・登別、白石交流登山 ・物産展 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市、白石市、海老名市民 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 3,062 | 3,062 | 3,945 | 3,556 | 3,634 |
| | 合計 | | 3,062 | 3,062 | 3,945 | 3,556 | 3,634 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 姉妹都市等都市間交流協会と連携し交流事業を行った。 【事業実績】 ・幌別地区手づくり祭りにおいて、2市の物産展の受入れを行い、特産品の試食販売を行った。 ・白石市農業祭、えびな市民まつり等で登別市物産展を出店し、登別閻魔焼きそばや各種登別産品の販売を行った。 ・白石市で開催されたサッカー、水泳の少年スポーツ交流事業に選手及び指導者を派遣したほか、同じく白石市で開催された「海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流25周年記念大会」において、2市の姉妹都市として登別市からも選手を派遣し、交流を行った。 ・各小中学生交流事業への補助及び小学生絵画作品交流展を開催した。 ・各団体が行う交流事業への補助を行った。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 3市交流人口 | 人 | 403 | 413 | 850 | 515 | 500 |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・交流を推進するための担い手の確保 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | ・事業を円滑に進めるため、3市の姉妹都市交流事業担当者間での連携を図る。 ・交流を推進するため、現在実施している事業のほか、他の分野における交流内容を検討する。 | 目標 市民レベルでの友好交流を推進し、姉妹都市である3市間の関係性をより強固にする。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 物産展への支援などを行うとともに、民間交流事業を行っている登別市姉妹都市等都市間交流協会に対して補助金を交付する。 【市の事業内容】 ・本市で開催される白石市及び海老名市の物産展への支援や2市で開催される登別市物産展への支援及び行事への職員の派遣 【交流協会の事業内容】 ・小学生絵画作品交流展 ・少年スポーツ交流事業 ・ふるさと豆記者交流事業 ・ふるさとのまちを語る交流事業 ・姉妹都市親善水泳大会 ・登別、白石交流登山 ・物産展 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 四五都市連絡協議会少年スポーツ交流事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 26 年度 |
| 施策 | 1 | 国内における交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 国内のさまざまな地域との交流の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 2 | 姉妹都市交流等の推進 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 四五都市連絡協議会を組織する東京都福生市及び滋賀県守山市と、少年スポーツを通して交流を推進することを目的とする。 | 前回評価 | 改善 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|--|--|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 本市において、剣道大会を開催する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 開催時期：7月～8月 参加人数：39名（各市：選手10名、指導者3名） ・6月中に登別剣道連盟及び各関係者に対し、協力を依頼する。 ・受け入れにあたり、日程の調整や、宿泊施設の確保など、事業が円滑に進むよう事前の準備を行う。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市、福生市、守山市の小学生 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | 1,000 | 1,250 | 764 | 0 |
| 合計 | | | | 0 | 1,000 | 1,250 | 764 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 本市において剣道大会を開催した。 【事業実績】 ・開催日 7月30日(土)～8月1日(月) ・参加人数 選手30人(各市10人)指導者9人(各市3人) ・事業内容 剣道大会及び自然体験プログラム等を通じた交流 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 都市間交流人数 | 人 | | 87 | 68 | 68 | - |

| | | |
|--------|--------|----------------------------|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|--------|--------|----------------------------|

| | | | |
|--------|--------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 平成29年度において、3市で協議を行い平成30年度以降の方向性を決定する。 | 目標 四五都市における少年スポーツを通じた交流を推進する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 |
| 継続 | 総合 | | |
| 【3次評価】 | | | |

事務事業名 東京登別げんきかい交流事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|--------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 元 年度 |
| 施策 | 1 | 国内における交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 国内のさまざまな地域との交流の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 3 | 札幌圏・首都圏における交流拠点の整備 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 首都圏等在住の登別出身者等で構成される「東京登別げんきかい」と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による首都圏での情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|---|------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 『東京登別げんきかい』と登別市との交流を図るとともに、首都圏での情報発信等を行い、市の発展につなげる。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・11月に開催される総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政や首都圏でのPRに協力いただく | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) (参考) 東京登別げんきかい会則 | 対象 同会会員 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | 573 | 516 | 498 | 408 | 501 |
| | 合計 | | | 573 | 516 | 498 | 408 | 501 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政や首都圏でのPRに協力いただくとともに、相互の情報交換や親睦、交流を図った。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 総会・情報交換会参加者(延べ人数) | 人 | 77 | 61 | 72 | 80 | 80 |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市から直接、情報提供する機会が限られているため、総会時以外においても、日頃から積極的に市の情報等を提供する必要がある。 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|--|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 東京登別げんきかいがふるさと応援のための活動を活性化しよう、市の情報を提供する場として交流事業を継続するとともに、同会のウェブサイト等へ市の情報等を掲載していただくよう、依頼する。 | 目標 『東京登別げんきかい』と登別市との交流を図るとともに、首都圏での情報発信等を行い、市の発展につなげる。 計画 ・11月に開催される総会や交流の場において、市の情報を発信し、市政や首都圏でのPRに協力いただく ・同会のウェブサイトやフェイスブックへ市の情報等の掲載を依頼し、関東圏での事業等を積極的に情報発信する |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 登別市ふるさと大使事業

| | | | | |
|--------|-----|--------------------|-----------|----------|
| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成4年度 |
| 施策 | 1 | 国内における交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成1年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 国内のさまざまな地域との交流の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 3 | 札幌圏・首都圏における交流拠点の整備 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|---|------|----|
| 目的 | ふるさと大使を通じ、様々な機会に登別市を宣伝することにより、市政の発展に寄与する。 | 前回評価 | 維持 |
|----|---|------|----|

| | | | |
|----|----|---|-----------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) さまざまな機会において、ふるさと大使に登別市を宣伝していただくことにより、市の発展につなげる。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、委嘱状を交付するとともに、観光パンフレットやPRカードを配布するほか、毎月、広報紙を郵送する。 ・登別市にゆかりのある方などに委嘱している『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）へ、広報紙や観光パンフレット、PRカード等を配布し、登別市の魅力を情報発信していただく。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市ふるさと大使設置要綱 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 17 | 7 | 17 | 12 | 17 |
| 合計 | | | 17 | 7 | 17 | 12 | 17 |

| | | | | | | | | |
|-----------------|-------------------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、鬼大使に委嘱状を交付するとともに、観光パンフレットやPRカードを配布するほか、毎月、広報紙を郵送した。 ・登別市にゆかりのある方などに委嘱している『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）へ、広報紙や観光パンフレット、PRカード等を配布し、登別市の魅力を情報発信していただくよう依頼した。 ・登別市を進学や就職・転勤などで離れる日本工学院北海道専門学校（旧：日本工学院）の学生と幌別駐屯地の自衛隊員に対し、いつまでも登別を第二のふるさととして意識し、愛着を持っていただくとともに、登別をPRしていただくため、『登別市応援プレゼンターカード』を作成、配布した。 | | | | | | |
| | 指標 | | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | 登別市ふるさと大使委嘱者数（累計） | 人 | 63 | 63 | 63 | 64 | 65 | |
| 登別市プレゼンターカード配布数 | 人 | - | - | - | 270 | 300 | | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）の情報発信方法が積極的に行えるよう、更なる情報提供等が必要となる。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|---|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 目標 |
| | 継続 | 市外に居住する大使に日頃の活動の中で市の話題を宣伝してもらうことは、市のPR方法の一つとして有効であることから、引き続き、広報紙やイベント等のパンフレット等を送付するなど、ふるさと大使への情報提供に努める。 | さまざまな機会において、ふるさと大使に登別市を宣伝していただくことにより、市の発展につなげる。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 |
| 継続 | | | ・登別市にゆかりのある方などに『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）を委嘱し、委嘱状を交付するとともに、観光パンフレットやPRカードを配布するほか、毎月、広報紙を郵送する。 ・登別市にゆかりのある方などに委嘱している『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）へ、広報紙や観光パンフレット、PRカード等を配布し、登別市の魅力を情報発信していただく ・『登別市ふるさと大使』（通称：鬼大使）が積極的に情報発信してもらえるよう、更なる情報提供を行う ・『登別市応援プレゼンターカード』を日本工学院北海道専門学校を卒業する学生などに配布する。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 札幌のぼりべつ会交流事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|--------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 8 年度 |
| 施策 | 1 | 国内における交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 国内のさまざまな地域との交流の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 3 | 札幌圏・首都圏における交流拠点の整備 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 札幌圏に居住する登別市に縁のある個人や法人で組織する『札幌のぼりべつ会』と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による札幌圏の企業と市内企業との経済交流を行うことを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|---|-------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 総会や交流の場において、市の情報を発信し、札幌圏でのPRに協力いただく | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・6月に開催される総会や交流の場において、市の情報を発信し、札幌圏でのPRに協力いただく | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) (参考) 札幌のぼりべつ会会則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 同会会員 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | | 千円 | | | | | |
| その他 | | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | | 千円 | | | | | |
| 合計 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・総会や交流の場において、市の情報を発信し、札幌圏でのPRに協力いただくとともに、札幌圏の企業・市内企業・市の情報交換や親睦、交流を図った | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 |
| | | 総会・情報交換会参加者(延べ人数) | 人 | 35 | 33 | 44 |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市から直接、情報提供する機会が限られているため、総会時以外においても、日頃から積極的に市の情報等を提供する必要がある。 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|--|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 札幌のぼりべつ会がふるさと応援のための活動を活性化するように、市の情報を提供する場として交流事業を継続するとともに、同会のウェブサイトへ市の情報等を掲載していただくよう、依頼する。 | 目標 総会や交流の場において、市の情報を発信し、札幌圏でのPRに協力いただく 計画 ・6月に開催される総会や交流の場において、市の情報を発信し、札幌圏でのPRに協力いただく ・同会のウェブサイトやフェイスブックへ市の情報等の掲載を依頼し、札幌圏や登別市などでの事業等を積極的に情報発信する |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 **国際交流推進事業**

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成4年度 |
| 施策 | 2 | 海外との交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 地域国際化の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 国際交流の推進 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

目的 登別市における国際交流を推進し、市民の国際理解を深めることを目的とする。

前回評価 **維持**

概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
諸外国の生活や文化などの理解を深めるため、講座を通じ、外国の多種多様な文化や価値観を学び、市民の国際理解の向上を図る

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・国際交流団体が文化交流事業として招聘した外国人研修生の受入を支援する。
・国際理解講座の開催を、年に5回行う。
・周知を図るため、チラシ等を公共施設へ掲示し、国際理解講座の参加者へ次回講座の周知文書を配布する。
・過去に国際理解講座へ出席された方に対し、国際理解講座の周知文書を配布する。
・国際理解講座の講座内容の充実を図る。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書（平成19年6月10日）、平成18年11月20日（サイパン市との友好都市提携同意書）、平成24年11月15日（広州
市との友好都市協定）

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
市民及び国際交流団体

事業費（財源内訳）

| 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|----|--------------|------------|------------|-----------|------------|
| 国庫支出金 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 千円 | | | | | |
| その他 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 千円 | 1,346 | 707 | 410 | 39 | 510 |
| 合計 | | 1,346 | 707 | 410 | 39 | 510 |

事務事業の成果・改善の状況

(実績を簡潔に記入してください)

国際交流団体等と連携し、国際理解を深めるための事業を実施した。
【主な事業内容】
○国際交流団体が文化交流事業として招聘した外国人研修生の受入支援をした。平成28年8月25日～9月9日 センリエ・マッセン（デンマーク）
○国際理解講座の開催（講座内容：諸外国の文化・風土の紹介など）
第1回 平成28年6月16日 講師：コーディ・マクドゥーガル（ALIT） 参加者：30人
テーマ：日本とアメリカとの制度や文化の違いについて
第2回 平成28年7月26日 講師：市職員 孔 佩群（コウ ハイグン） 参加者：39人
テーマ：ふるさと中国の文化や論語について
第3回 平成28年8月10日 講師：ステューブ・アスキー（元登別市ALIT、札幌北星高校教師） 参加者：20人
テーマ：日本とイギリスの文化の違いについて
第4回 平成28年10月5日 講師：スレスタ・スレス（室蘭工業大学 留学生） 参加者：16人
テーマ：私の国ネパール
第5回 平成28年1月11日 講師：瀧澤 ジェーン（英会話教室 講師） 参加者 25人 計130人
テーマ：海外旅行先でよく使う日常英会話
○国際理解講座の周知を図るため、チラシ等を公共施設へ掲示し、国際理解講座参加者へ次回講座の周知文書を配布し、過去に出席された方に対しても周知文書を配布した。
○国際理解講座の講座内容の充実を図った。

| 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
|---------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国際理解講座の参加者数 | 人 | 113 | 53 | 122 | 130 | 100 |
| 市民・児童生徒等の交流人数 | 人 | 1,375 | 1,414 | 1,241 | 1,021 | 1,500 |

課題等の状況

平成28年度
国際理解講座の1回あたりの参加者を20名程度としたが、目標を達成しない講座があった。

評価

| | | | |
|--------|-----------|--|---|
| 【1次評価】 | 継続 | 今後の取組【Action】 担当グループ 国際交流団体との連携を強化するとともに、国際理解講座の講座内容の充実及び周知に努め、1講座当たりの参加者を平均20名とした目標値を達成する。 | 今後の目標・計画【Plan】 目標 国際交流団体との連携を強化するとともに、国際理解講座の講座内容の充実及び周知に努める。 |
| 【2次評価】 | 継続 | 行政評価会議 | 計画 ・国際交流団体との連携を強化するため、国際交流団体が文化交流事業として招聘した外国人研修生の受入を行う。 ・国際理解講座の講座内容の充実を図るため、分かりやすい資料の作成に努める。 ・国際理解講座の周知のため、広報紙はもとより、ホームページや公共施設等への周知文書の掲示などを行う。 ・国際理解講座への過去の出席者に対し、周知を図る。 ・ときめき大学の連携コースに位置づけられており、生徒への国際理解講座の周知を図る。 |
| 【3次評価】 | | 総合 | |

事務事業名 **デンマーク友好都市中学生派遣交流事業**

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成24年度 |
| 施策 | 2 | 海外との交流の場と機会の拡大 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 地域国際化の推進 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 3 | 国際性豊かな人材育成 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|-----------|
| 目的 | 登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、ファボー・ミッドフュン市との交流を推進することを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|-----------|

| | | | |
|----|----|---|--------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 事業を通じ、現地でのホームステイや言語を体験することにより、海外の魅力や英語に興味を持ってもらう。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・周知用チラシを作成のうえ事前周知し、4月上旬に派遣生徒を募集する。 ・現地対応者を通じ、派遣生徒のアレルギーなどを事前にホストファミリーと情報共有し、円滑な受入態勢を整備する。 ・デンマークへの理解やコミュニケーションを図るため、事前研修を10回実施する。 ・8月中旬に派遣団の派遣を完了するとともに、帰国後は、速やかに生徒へアンケートを実施する。 ・研修報告書の作成や帰国報告会でのプレゼンテーションを実施するため、事後研修を6回実施する。 ・10月に帰国報告会を開催し、関係者へ報告する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業実施要領、(参考)平成19年6月10日ファボー・ミッドフュン市との友好都市協定書 | 対象 市内中学生等 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | いきいき人とまち基金積立金繰入金 | 千円 | 2,402 | 1,886 | 2,372 | 2,091 | 2,388 |
| 一般財源 | | 千円 | 40 | 31 | 40 | 35 | 40 |
| | 合計 | | 2,442 | 1,917 | 2,412 | 2,126 | 2,428 |

| | | | | | | | |
|---------------|----------------|--|----|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ホームステイによる外国生活の体験、同年代の外国人生徒との交流等を図るため、市内中学校と明日中等教育学校前期課程の生徒から希望者を市が公募し、友好都市であるデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣した。 ○応募人数の拡大を図るため、前年度末に事業を周知するためのチラシを作成し、市内小中学校等へ事前周知 ○派遣生徒8名、引率2名の計10名により8月12日(金)から19日(金)の日程でデンマークへ派遣 ○7月に派遣団の結団式を実施後、10回の事前研修を経て派遣。帰国後は、6回の事後研修を実施し10月の帰国報告会にて参加者の保護者や学校関係者、国際交流団体、市民自治推進委員からの出席者へ派遣内容を報告 ○事業終了後に実施した派遣生徒へのアンケート回答結果 ・ホストファミリーとの生活については、ほとんどの生徒が「とても良い思い出となった。」 ・現地での視察先については、次年度以降の参加者に「強く勧める」、「勧めたい」 ・目指す将来への影響については、事業への参加がきっかけで「英語を使ってコミュニケーションをとる仕事に興味を持った。」、「日本と海外を繋げたい。」 ○派遣を通じて、将来、英語を活用した職業を目指すなどの影響を与えたことや、デンマークに再度訪れたいという回答が多数の割合であったことから、派遣生徒が英語や海外に興味を持つことに繋がる成果を得ることができた。 | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 |
| | 海外に興味を持った生徒の割合 | % | - | 100 | 100 | 87.5 | 100 |
| | 派遣生徒数(延べ人数) | 人 | 18 | 27 | 34 | 42 | 51 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 団長等へ事業を通じた聴き取りや派遣生徒へのアンケート調査を実施したところ、次の課題を見出した。 ・現地での手続き等における知識の不足があった。 ・現地での英会話に困ることがあった。 ・派遣行程をより詳細にする必要があった。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|----|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ ・現地での手続き等については、事前研修にて知識を習得できるよう対応する。 ・現地での英会話については、事前研修での英語学習にて発声練習やロールプレイングをするとともに、派遣者用のしおりに記載する。 ・派遣行程については、現地対応者と連携を図り、派遣行程の内容をより詳細に記載する。 | 今後の目標・計画【Plan】 目標 事業を通じ、現地でのホームステイや言語を体験することにより、海外の魅力や英語に興味を持ってもらう。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・左記の今後の取組を実施する。 ・事前研修及び事後研修を実施する。 ・8月中旬に派遣団の派遣を完了し、帰国後、アンケートを実施する。 ・10月に帰国報告会を開催し、関係者へ報告する。 ・過去の派遣生徒に対し、本事業がきっかけでどのような影響を受けたか聞き取りを実施する。 |
| | 【3次評価】 | 総合 | |

| | |
|-------|--------|
| 事務事業名 | 移住促進事業 |
|-------|--------|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 17 年度 |
| 施策 | 3 | 定住の地を求める人の勧誘と定住支援 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 移住・定住の受入体制の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 移住・定住相談体制の整備 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 登別市の概要や各種イベント、セールスポイントなど、登別の魅力を発信し、登別市への移住体験参加者及び定住者の増加を目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|---|--------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 本市への移住体験参加者及び定住者の増加を図るため、交流人口の増加と北海道への移住希望者が集まる「北海道暮らしフェア」等に参加し、移住定住の促進を図る。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・移住情報パンフレット（一部改訂）を発行する。 ・北海道への移住希望者が参加する「北海道暮らしフェア」（大阪会場、東京会場）へ出店する。 ・移住希望者の生活スタイルに応じた公共施設や生活基盤となる施設を紹介する体験型パッケージツアーを実施する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道移住促進協議会設置要綱、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日付け総行応第38号総務事務次官通知）、登別市地域おこし協力隊員設置要綱 | 対象 移住希望者等 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 563 | 542 | 984 | 901 | 1,038 |
| 合計 | | | 563 | 542 | 984 | 901 | 1,038 |

| | | | | | | | |
|---------------|------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 本市の魅力を多角的に紹介し、移住体験希望者のニーズに合った情報提供を行った。 ○北海道移住促進協議会による情報を発信した。 ○移住情報パンフレットの改訂を行った。 ○移住相談ワンストップ窓口を継続して設置した。 ○北海道への移住希望者が参加する「北海道暮らしフェア（大阪会場、東京会場）」へ出店した。 ○関係団体と連携し、市内不動産物件の情報を提供した。 ○移住希望者の生活スタイルに応じた公共施設や生活基盤となる施設を紹介する体験型パッケージツアーを実施した。 | | | | | |
| | 指標 | | | | | | |
| | | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | 移住ワンストップ窓口への相談者数 | 人 | 18 | 39 | 36 | 70 | 55 |
| | ちょっと暮らし利用者数 | 人 | 13 | 96 | 172 | 190 | 200 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・移住情報パンフレットの情報の更新 ・登別市への移住体験参加者及び定住者の増加 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|--|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 引き続き、登別市の魅力を発信するため、移住情報パンフレットの情報を更新するほか、本市への移住体験参加者及び定住者の増加を図るため、「北海道暮らしフェア」名古屋会場に参加するとともに、新たに『本気の移住相談会』に参加する。 | 目標 本市への移住体験参加者及び定住者の増加を図るため、交流人口の増加と北海道への移住希望者が集まる「本気の移住相談会」等に参加し、移住定住の促進を図る。 計画 ・移住情報パンフレットの情報を更新する。 ・北海道への移住希望者が参加する「北海道暮らしフェア」（名古屋会場）へ出店する。 ・『本気の移住相談会』に参加する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 西いぶり版「生涯活躍のまち」構想推進事業

| | | | | |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成28年度 |
| 施策 | 3 | 定住の地を求める人の勧誘と定住支援 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 移住・定住の受入体制の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 移住・定住相談体制の整備 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 西胆振6市町全体で「生涯活躍のまち」構想を推進することにより、首都圏等のアクティブシニアの移住促進による人口減少抑制や充実した医療介護体制の維持による安心して住み続けられるまちの実現、医療介護分野をはじめ雇用の場の創出による若者や女性の定住につなげることを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|---------------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 圏域全体で『西いぶり「生涯活躍のまち」構想』を策定するとともに、構想の周知啓発、圏域全体での機運醸成を図る | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・西胆振6市町の行政や経済団体、医療・福祉団体、金融機関など多様な主体が参画する「西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会」を設置する。 ・複数自治体連携によるメリットやデメリットの整理、社会保障費や経済波及効果等のシミュレーション、導入に向けたビジネスモデルの検討などを踏まえた『西いぶり版「生涯活躍のまち」構想』を策定する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 西いぶり「生涯活躍のまち」構想 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 西胆振圏域外の住民 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国庫支出金 | 地方創生加速化交付金 | 千円 | 2,775 | 0 | 2,775 | 2,625 | 0 |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 61 | 0 | 61 | 211 | 0 |
| | 合計 | | 2,836 | 0 | 2,836 | 2,836 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・平成28年5月に西胆振6市町の行政や経済団体、医療・福祉団体、金融機関など、多様な主体が参画する『西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会』を設置した。 ・平成29年3月に、本協議会が実施した圏域内の資源調査や移住意向に関するアンケート調査などの結果を踏まえ、基本的な考え方や今後の取組の方向性を取りまとめた『西いぶり「生涯活躍のまち」構想』を策定した。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | | | | | | | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・『西いぶり「生涯活躍のまち」構想』の推進に向け、圏域での総合窓口の体制整備や具体的な取組を検討する必要がある。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 圏域内の団体・サークル活動や移住に関する情報を発信する広域コンシェルジュサービスの体制整備を進めるほか、住居や就労などの取組について、『西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会』を中心に、各分野の関係団体や民間事業者を交えて協議を進める。 | 目標 構想の推進に向け、圏域の総合窓口の体制整備や具体的な取組の検討を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・協議会を中心に、各分野の関係団体や民間事業者を交えて協議を進める。 ・試行的に西胆振圏域全体の移住相談窓口を設置する。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 移住に関する情報提供事務

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 17 年度 |
| 施策 | 3 | 定住の地を求める人の勧誘と定住支援 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 移住・定住の受入体制の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 移住・定住相談体制の整備 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

目的 まちの概要やセールスポイントのPRを行うとともに、移住希望者へ有益な情報を提供することにより、移住定住の促進を目的とする

前回評価

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
 まちの概要やセールスポイントのPRを行うとともに、移住希望者へ有益な情報を提供し、移住・定住の促進を図る

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
 ・移住相談ワンストップ窓口を継続設置する。
 ・交流活動専門員による移住相談、市内案内を実施する。
 ・さまざまな機会に移住情報パンフレットを配布する。
 ・「全国移住ナビ」等を活用したまちの魅力を発信する。
 ・北海道移住促進協議会による情報発信をする。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
 北海道移住促進協議会設置要綱、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日付け総行応第38号総務事務次官通知）

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
 移住希望者等

Plan ↓ Do (事業費(財源内訳))

| 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国庫支出金 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 千円 | | | | | |
| その他 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 千円 | - | - | - | - | - |
| 合計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度

(実績を簡潔に記入してください)
 ・移住相談ワンストップ窓口を継続設置した。
 ・交流活動専門員による移住相談、市内案内を実施した。
 ・市のさまざまな機会を通じた移住情報パンフレットを配布した。
 ・「全国移住ナビ」等を活用したまちの魅力を発信した。

| 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
|------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 移住ワンストップ窓口への相談者数 | 人 | 18 | 39 | 36 | 70 | 55 |

Check 課題等の状況

平成28年度

(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 ・移住情報パンフレットの情報の更新
 ・移住体験参加者及び定住者の増加

| 評価 | 今後の取組【Action】 | 今後の目標・計画【Plan】 |
|--------|--|--|
| 【1次評価】 | 担当グループ | 目標 |
| 継続 | 移住を検討される方の多くがWebによる情報収集を行っていることから、道内外の居住者、特に若年層に対して、市内企業の特徴や求人情報などの情報発信に努めるため、移住・定住ポータルサイトを拡充する。 | 移住・定住ポータルサイトの拡充及び様々な媒体を通じたまちの魅力を発信する。 |
| | 行政評価会議 | 計画 |
| 【2次評価】 | 総合 | 移住・定住ポータルサイトへ市内企業の特徴や求人情報などの最新情報を掲載し、情報発信に努める。 |
| 【3次評価】 | | |

事務事業名 移住促進PR事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成28年度 |
| 施策 | 3 | 定住の地を求める人の勧誘と定住支援 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 移住・定住の受入体制の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 2 | 移住体験の推進 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 移住体験事業「ちょっと暮らし」や生活拠点としての本市の魅力などをPRすることにより、本市への完全移住、二地域居住、ショートステイを促し、定住人口・交流人口の増加を図る。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|----|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 様々な媒体を活用し、地域の魅力をPRすることにより、移住促進に努める | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○移住・定住ポータルサイトを制作する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道移住促進協議会設置要綱、地域おこし協力隊推進要綱（平成21年3月31日付け総行応第38号総務事務次官通知） | 対象 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | - | - | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| | 合計 | | 0 | 0 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |

| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) さらなる移住促進のため、企画提案（プロポーザル方式）の手法により選定した事業者に対し、移住・定住ポータルサイトの制作を委託した。 本ポータルサイトを活用して、道内外の居住者に本市の観光都市としての魅力はもとより、移住・定住の地として魅力あるまちであることをPRした。 | | | | | | |
|---------------|-------------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 移住ワンストップ窓口への相談者数 | 人 | 18 | 39 | 36 | 70 | 55 |
| | ちょっと暮らし利用者数 | 人 | 13 | 96 | 172 | 190 | 200 | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・若年層を中心とした移住検討者への市内企業の求人情報等の提供 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|-------------------------------------|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 求人情報を掲載するに当たり、商工会議所等の関係団体との連携を強化する。 | 目標 道内外の居住者、特に若年層に対して、市内企業の特徴や求人情報などの情報発信に努めるため、移住・定住ポータルサイトを拡充する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・市内企業の求人情報を移住・定住ポータルサイトに掲載し、最新の情報を提供する。 ・商工会議所等の関係団体との連携を強化する。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 定住自立圏の形成

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|-------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 2 | 交流によるまちづくりの推進 | 開始年度 | 平成 23 年度 |
| 施策 | 3 | 定住の地を求める人の勧誘と定住支援 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 2 | 人口流出の阻止・都市機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 定住自立圏の形成 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

目的 中心市と近隣市町村が連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進するため、定住自立圏形成協定を締結した室蘭市や定住自立圏構成市町と役割分担を図りながら、都市機能の構築・充実に努めることを目的とする。

前回評価

Plan 概要

目標 (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)
西胆振6市町がより多くの分野で連携しながら、任氏の安全・安心な暮らしとサービス向上に向けた様々な取組を行う。

計画 (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)
・協定分野の追加と変更に伴い、10のワーキンググループ体制に変更する。
・地方創生加速化交付金を活用し、事業を実施する（産業振興WG、交流・移住促進WG）。
・西いぶり定住自立圏共生ビジョンを一部変更する。

根拠 (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)
西いぶり定住自立圏共生ビジョン、定住自立圏の形成に関する協定書、定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定書

対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)
西胆振6市町

Plan ↓ Do 事業費（財源内訳）

| 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 国庫支出金 | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | 千円 | | | | | |
| 地方債 | 千円 | | | | | |
| その他 | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | 千円 | | | | | |
| 合計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

Do 事務事業の成果・改善の状況

平成28年度 (実績を簡潔に記入してください)
都市機能のさらなる充実を図るため、定住自立圏における取組内容や実施スケジュール、事業費見込額等を記載した「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」に基づき、連携市町との協議を行いながら事業に取組んだ。
・定住自立圏の取組について、広報のほりべつ10月号に掲載した。
・平成28年度から32年度の5年間を計画期間として改訂された「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」に平成29年度の実施事業やKPI（重要業績評価指標）などを反映し、一部変更した。
・「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」に基づき、「医療・保健」、「福祉」、「防災」、「産業振興」、「環境」、「教育」等の10の政策分野において取組を行った。
・産業振興ワーキンググループの取組として、地方創生加速化交付金を活用し、「西いぶりクラウドファンディング販路拡大事業」を実施した。
・交流・移住促進ワーキンググループの取組として、西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会を設置し、地方創生加速化交付金を活用し、西いぶり「生涯活躍のまち」構想を策定した。

| 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | |

Check 課題等の状況

平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
各協定分野においてワーキンググループを開催する。

評価

| 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 | 今後の目標・計画【Plan】 |
|--------|--|---|
| 継続 | 担当グループ | 西いぶり定住自立圏共生ビジョンに設定されたKPI（重要業績評価指標）の達成に向けた取組を進める。 ・平成29年度の進め方や事業について検討する。 ・平成28年度実績（KPI）状況、平成29年度事業の進捗状況及び平成30年度の事業の方向性などについて協議する。 ・西いぶり定住自立圏共生ビジョンを一部変更する。 ・各協定分野のワーキンググループを開催する。 |
| | 一部変更した「西いぶり定住自立圏共生ビジョン」に基づき、西胆振6市町による連携のもと、幹事会やワーキンググループの開催により、各取組を展開する。 | |
| | 行政評価会議 | |
| 【2次評価】 | 総合 | |
| 【3次評価】 | | |

事務事業名 市バス運行業務

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 28 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|---|------|
| 目的 | 市バスを効率的に運行することにより、市民サービスの向上を図ることを目的とする。 | 前回評価 |
|----|---|------|

| | | | |
|------------|----|--|---------------------------------|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 安全かつ安定的な市バスの運行及び利便性の向上に努める。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 利用者より事前に運行計画を徴した上で、市バスの運行スケジュールを作成する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市バス利用者 |

| Plan ↓ Do 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|------------------------------|-------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 地方債 | | 千円 | | | | | |
| | その他 | | 千円 | | | | | |
| | 一般財源 | | 千円 | | | 4,723 | 3,116 | 4,126 |
| 合計 | | | | 0 | 0 | 4,723 | 3,116 | 4,126 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 市バス運転手として嘱託員を雇用し、平成27年度に購入した市バス2台により直営方式にて運用を行った。 ・市バス運行回数 284回 ・市バス乗車人数 5,361人 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 市バス運行回数 | 回 | | | | 284 | 300 |

| | | |
|-----------------|--------|----------------------------|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|-----------------|--------|----------------------------|

| | | | |
|----|--------|--------------------------|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 引き続き、安全かつ安定的な市バスの運行に努める。 | 目標 安全かつ安定的な市バスの運行及び利便性の向上に努める。 計画 利用者より事前に運行計画を徴した上で、市バスの運行スケジュールを作成する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 継続 | 【3次評価】 | 総合 | |

事務事業名 ふるさとまちづくり応援寄附金関係経費

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
|--------|-----|----------------------|-----------|---------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 ー 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | ふるさとまちづくり応援寄附金の寄附者に感謝の気持ちをこめて、登別市の特産品等を贈呈することにより、寄附金による歳入確保と登別市のPRを行うことを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|--|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) ・クレジットカード決済の導入等を行い寄附金額増加を目指す。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・クレジットカード決済の導入等を行う。 ・業務の一部委託を行う。 ・返礼品をリニューアルする。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市ふるさとまちづくり応援寄附金条例、登別市ふるさとまちづくり応援寄附金条例施行規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市外に居住し、登別市にふるさと納税をした人 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | 7,707 | 2,992 | 19,756 | 69,296 | 86,280 |
| | 合計 | | | 7,707 | 2,992 | 19,756 | 69,296 | 86,280 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|--------|--------|---------|---------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・ふるさとまちづくり応援寄附金の寄附者に対して、感謝の気持ちを込めて特産品等を贈呈した。 ・また、寄附金額の増加と業務の効率化を図るため、クレジットカード決済及び業務の一部委託を行った。 ・魅力ある返礼品等の見直しを行った。 その結果大幅な寄附金額、件数の増加となった。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | 寄附件数 | 件 | 75 | 804 | 662 | 8,920 | 9,000 | |
| 寄附金額 | 千円 | 2,000 | 18,418 | 15,215 | 167,063 | 170,000 | | |

| | | |
|--------|--------|---|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・月ごとや年ごとで寄附の申し込みのムラがある。 ・新たな返礼品の開発、新規事業者の登録に限界がある。 |
|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|-------------------------|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | ・今後も寄附金額の維持、増加を目的に取り組む。 | 目標 ・広告媒体を使用し更なるPRを行う。 ・新たな返礼品の追加を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・ファミリーレストランへのパンフレット設置や、雑誌等にふるさと納税の情報を掲載しPRする。 ・ケータイ払い等より寄附者が簡単にふるさと納税できる体制を整える。 ・事業者との交渉を重ね新たな返礼品を追加する。 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 行政不服審査会経費

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 28 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 市が行った行政処分その他公権力の行使に当たる行為に関し、市民の権利利益の救済を図るとともに、行政の適正な運営を確保することを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|---|------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 行政不服審査会を設置し、本審査会に諮問することにより、審査請求に対する裁決の客観性・公平性を高める。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 平成26年に行政不服審査法（以下「法」という。）が全部改正され、第三者機関（附属機関）への諮問が義務付けられたことから、法第81条第1項に規定する第三者機関である行政不服審査会を設置し、本審査会を円滑に運営する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 行政不服審査法（平成26年法律第68号）、登別市行政不服審査会条例（平成28年条例第6号） | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民等 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | | 91 | 29 | 86 |
| 合計 | | | | 0 | 0 | 91 | 29 | 86 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 行政不服審査会を設置し、登別市行政不服審査会条例第4条に定める会長及び会長職務代理者を選任するため審査会を開催した。 ・会議開催数：1回 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 会議開催数 | 回 | | | | 1 | 0 |

| | | |
|--------|--------|------------------------------------|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 特になし |
|--------|--------|------------------------------------|

| | | | |
|--------|--------|--|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 行政不服審査会の開催は、市が行った行政処分その他の公権力の行使に当たる行為に対する審査請求がされた都度の随時開催を予定している。 | 目標 行政不服審査会に諮問することにより、審査請求に対する裁決の客観性・公平性を高める。 計画 行政不服審査会を円滑に運営する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 継続 | 総合 | |

事務事業名 北海道電子自治体共同システム運用事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 17 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 国が進める電子自治体（政府）実現の為の基盤となる電子申請について開発運用を行い、電子申請の利用拡大による市民の利便性向上を図ることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|--|----------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) インターネットを通じて、申請業務等の行政サービスを提供することにより、市民の利便性の向上を図る。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・電子自治体の実現にあたって必要となる各種システムの共通基盤及び市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用する ・北海道電子自治体共同運営協議会にて電子申請基盤の見直しの検討を行う | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 北海道電子自治体共同運営協議会規約 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民及び事業者 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 2,283 | 2,259 | 2,251 | 2,245 | 2,248 |
| | 合計 | | 2,283 | 2,259 | 2,251 | 2,245 | 2,248 |

| | | | | | | | | |
|---------------|---------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・電子自治体の実現にあたって必要となる各種システムの共通基盤及び市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用した ・北海道電子自治体共同運営協議会により電子申請基盤の見直しが行われ、子育てワンストップサービスに係る電子申請機能が追加されることとなった。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | 年間電子申請数 | 件 | 304 | 949 | 403 | 19 | 1,000 | |
| 帳票ダウンロード数 | 件 | 95 | 1,137 | 1,390 | 1,344 | 1,000 | | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 電子自治体の実現にあたって、実事務とシステムとのバランス及びトレードオフについて |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|---|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 事業の継続を図り、電子自治体の更なる実現にあたって、各種システムの活用を検討していく。 | 目標 道内他市町村との共同運用を継続すると共に、電子申請基盤の見直しについて検討を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・電子自治体の実現にあたって必要となる各種システムの共通基盤及び市町村電子申請システムを北海道と道内市町村が共同で運用する ・子育てワンストップサービス等の新たに追加された機能に関して積極的な利用検討を行う |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 西いぶり広域連合共同電算化事業負担金

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 19 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | これまで各市において、独自に保有、運用をしていた業務システムについて、3市1町により共同運用を行い、業務システムに係る費用圧縮、障害耐性向上及び事務水準を統一することによる事務改善を図ることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|---|-----------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 西胆振3市1町が共同で電算システムを運用することにより、市民サービスの向上及び電算システム運用に係る経費の節減を図る。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町の3市1町が共同運用する戸籍、住民基本台帳、課税などの基幹業務システムを安全かつ効率的に運用する ・社会保障・税番号制度における情報連携の開始に向けた各業務システムの整備等を行う | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 西いぶり広域連合規約 | (ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 職員 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 | |
|-----------|------------------|--------------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 国庫支出金 | 社会保障・税番号システム整備費補助金 | | 千円 | 19,203 | 12,607 | 6,222 | 6,631 | 324 |
| 道支出金 | | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | | 千円 | | | | | | |
| その他 | 手数料（住民基本台帳・印鑑証明） | | 千円 | 9,708 | 9,487 | 9,645 | 9,447 | 9,372 | |
| 一般財源 | | | 千円 | 158,446 | 158,841 | 161,372 | 151,566 | 179,879 | |
| 合計 | | | | | 187,357 | 180,935 | 177,239 | 167,644 | 189,575 |

| | | | | | | | |
|---------------|-------------------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・戸籍、住民基本台帳、課税などの基幹業務システムの運用について、安全かつ効率的に3市1町で共同運用することができた ・社会保障・税番号制度における情報連携の開始に向けた各業務システムの整備等を行った | | | | | |
| | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | 重大障害件数※住民へ影響を及ぼした障害発生件数（年間目標件数4件以内） | 件 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) システムの改修費用のさらなる縮減について |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|--------------------------------------|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 事業の継続を図り、社会保障・税番号制度など各種制度の対応を継続して行う。 | 目標 西胆振3市1町が共同で電算システムを運用することにより、さらなる市民サービスの向上及び電算システム運用に係る経費の節減を図る。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 ・室蘭市、登別市、伊達市、壮瞥町の3市1町が共同運用する戸籍、住民基本台帳、課税などの基幹業務システムを安全かつ効率的に運用する ・社会保障・税番号制度における情報連携の開始にあたり、稼働支援を行う |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 **情報セキュリティ強化事業**

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 27 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登録事業 |

| | | | |
|----|---|------|-----------|
| 目的 | 庁内のパソコンに対してセキュリティアップデートプログラムの配信やUSBメモリ等のリムーバブルメディアを制御することにより、庁内の情報セキュリティの強化及び情報漏洩等への対策を目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|---|------|-----------|

| | | | |
|----|----|--|-----------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 統合型情報資産管理システムを利用し、本市が管理しているパソコンやソフトウェアなどの情報資産に関して、より集中的かつ安全に管理し、情報セキュリティの強化を図る。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・統合型情報資産管理システムを利用し、情報資産の適切な維持及び管理を行う ・新たなセキュリティアップデートプログラム及びウイルス対策ソフトの配信を迅速に行う | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) ・登別市情報セキュリティ基本方針 ・登別市情報セキュリティ対策基準 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 職員 |

| | | | | | | | |
|---------------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事業費 (財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
| | 国庫支出金 | 千円 | | | | | |
| | 道支出金 | 千円 | | | | | |
| | 地方債 | 千円 | | | | | |
| | その他 | 千円 | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 5,962 | 1,588 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | | 5,962 | 1,588 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | | |
|---------------|--------------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・統合型情報資産管理システムを利用し、情報資産の適切な維持及び管理を行った ・予定していたとおりセキュリティアップデートプログラム及びウイルス対策ソフトの配信を行った | | | | | |
| | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | セキュリティインシデント報告数（システム障害除） | 件 | | | 0 | 0 | 0 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) セキュリティインシデントの発生・被害を抑える体制及び環境について |
|--------|--------|--|

| | | | | |
|--------|---------------|-------------------------------|----|---|
| 評価 | 今後の取組【Action】 | 今後の目標・計画【Plan】 | | |
| | 【1次評価】 | 担当グループ | 目標 | セキュリティ対策ソフトウェア利用し、USBメモリ等のリムーバブルメディアの制御を行うと共に、情報資産を集中的かつ安全に管理し、情報セキュリティの強化を図る。 |
| | 継続 | 事業の継続を図り、庁内セキュリティの維持及び強化に努める。 | 計画 | ・統合型情報資産管理システムを利用し、情報資産の適切な維持及び管理を行う。 ・統合型情報資産管理システムを利用し、USBメモリ等のリムーバブルメディアの制御を行う。 |
| 【2次評価】 | 行政評価会議 | | | |
| 継続 | | | | |
| 【3次評価】 | 総合 | | | |

事務事業名 ネットワークセキュリティ強靱化事業

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成27年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|---|------|
| 目的 | マイナンバー制度の施行に伴い総務省から示された「自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化案（自治体情報システム強靱性向上モデル）」に適合するよう本市の庁内ネットワーク環境を「個人番号利用事務系」「個人番号関係事務系」「インターネット接続系」の3つの環境に分離するとともに、ネットワークセキュリティの更なる強化を図ることを目的とする。 | 前回評価 |
|----|---|------|

| | | | |
|----|----|---|-----------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 庁内ネットワークについて、一部業務システムを分離することで、『自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化案』に適合するよう、庁内ネットワーク環境を変更し、ネットワークセキュリティの強化を行う。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 次のとおり庁内ネットワーク環境の変更及びシステムの導入を行う。 ・個人番号利用事務の分離（シンクライアントシステム環境の構築） ・個人番号利用事務系PCにおける2要素認証機能の導入 ・メール環境の分離（メール無害化システムの導入） | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) ・登別市情報セキュリティ基本方針 ・登別市情報セキュリティ対策基準 ・登別市特定個人情報取扱規程 | (ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 職員 |

| | | | | | | | | |
|---------------------------------|----------|-----------------------|----|-------|-------|---------|--------|-------|
| P l a n ↓ D o | 事業費（財源内） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
| | 国庫支出金 | ネットワークセキュリティ強靱化事業費補助金 | 千円 | | | 9,000 | 9,000 | |
| | 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 地方債 | ネットワークセキュリティ強靱化事業充当債 | 千円 | | | 64,881 | 62,600 | |
| | その他 | | 千円 | | | | | |
| | 一般財源 | | 千円 | | | 34,572 | 22,477 | |
| | | 合計 | | 0 | 0 | 108,453 | 94,077 | 0 |

| | | | | | | | | | |
|--------|---------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| D o | 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 「自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化案（自治体情報システム強靱性向上モデル）」に適合するよう、次のとおり庁内ネットワーク環境の変更及びシステムの導入を行った。 ・個人番号利用事務の分離（シンクライアントシステム環境の構築） ・個人番号利用事務系PCにおける2要素認証機能の導入 ・メール環境の分離（メール無害化システムの導入） | | | | | | |
| | | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | | セキュリティインシデント報告数（特定個人情報関係） | | | | | 0 | 0 |

| | | | |
|-----------------------|--------|--------|---|
| C h e c k | 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 分離後のシステムにおける利便性とセキュリティのバランスについて |
|-----------------------|--------|--------|---|

| | | | |
|--------|--------|---------------|----------------|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 終了 | 担当グループ | 目標 |
| | 平成28年度 | 行政評価会議 | 計画 |
| 【2次評価】 | 終了 | 総合 | |
| 【3次評価】 | | | |

事務事業名 地方公会計関係経費

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部財政G |
|--------|-----|----------------------|-----------|--------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成27年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成29年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 国が示す統一的な基準による地方公会計の整備を進めることにより、財政マネジメントの強化を図ることを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|--|----|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成29年度から公表を行う統一的な基準による財務書類の作成に向け、固定資産台帳の更新やシステム対応等の準備を進める。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・固定資産台帳の更新 ・平成28年度期首の貸借対照表の作成 ・財務会計システムと地方公会計標準ソフトウェアの連携動作の確認 ・関係職員を対象とした研修の実施 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 平成27年1月23日付け総務大臣通知「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」 | 対象 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 7,560 | 5,940 | 6,036 | 5,940 | 3,888 |
| | 合計 | | 7,560 | 5,940 | 6,036 | 5,940 | 3,888 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 公認会計士の業務支援を受けながら、統一的な基準による財務書類の作成に向け、その補助簿となる固定資産台帳の更新を行ったほか、平成28年度期首の貸借対照表を作成した。また、複式仕訳に係るシステム対応等を行った。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 固定資産台帳の整備状況(判定1:完了、判定2:未完了) | 判定 | | | 1 | 1 | 1 |
| | | 統一的な基準による財務書類(平成28年度以降の各年度決算ベース)の作成・公表状況(判定1:完了、判定2:未完了) | 判定 | | | | | 1 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・固定資産台帳の更新にあたっては、施設を所管している部署等との連携が必要なことから、これら職員の統一的な基準による地方公会計制度や複式簿記等に対する基礎知識の向上を図る必要がある。 ・財務書類や固定資産台帳を行政評価や予算編成等へどのように活用できるのか検討する必要がある。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|----|------------------|--|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ ・関係職員を対象とした研修を実施する。 ・他団体の先進事例に関する情報収集や活用手法についての研究を行う。 | 今後の目標・計画【Plan】 目標 財務書類の作成・公表を通じ、財政の透明性の確保に努める。 |
| | 平成29年度 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 <平成29年度> 公認会計士の業務支援を受けながら次の計画に取り組む。 ・固定資産台帳の更新を行う。 ・平成28年度決算の財務書類の作成及び公表を行う。 ・関係職員を対象とした研修を実施する。 ・他団体の先進事例に関する情報収集や活用手法についての研究を行う。 なお、統一的な基準による財務書類の作成、公表は今後も継続するが、統一的な基準による地方公会計の導入にあたって業務支援を受ける当事務事業は、平成29年度をもって終了とする。 |
| | 【3次評価】 | 総合 | |

| | |
|-------|-------------|
| 事務事業名 | 個人番号カード交付事業 |
|-------|-------------|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部市民サービスG |
|--------|-----|----------------------|-----------|--------------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 27 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|---|------|
| 目的 | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、通知カード・マイナンバーカードの交付を円滑に行うことを目的とする。 | 前回評価 |
|----|---|------|

| | | | |
|------------|----|---|---------------------------------|
| 概要 Plan | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 通知カード・マイナンバーカードの交付を円滑に行うとともに、マイナンバーカードに関する市民の理解を高め、普及率を上げる。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市役所窓口付近の掲示板等にマイナンバーカードの周知ポスターを掲示し、周知を図る。 ・マイナンバーカードの交付の準備が整ったことを郵送で案内する際に、必要書類等を市民に分かりやすくするために資料を作成し、案内とともに送付する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律・同法律施行令・同法律施行規則 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 全市民 |

| 事業費 (財源内訳) Plan↓Do | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|--------------------------|-------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|
| | 国庫支出金 | 個人番号カード交付事業費補助金及び事務費補助金 | 千円 | 30,185 | 17,888 | 17,372 | 8,441 |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 5,702 | 5,242 | 0 | 136 | 1 |
| | 合計 | | 35,887 | 23,130 | 17,372 | 8,577 | 8,527 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|-----------------------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 Do | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 通知カード・マイナンバーカードについて、製造、発行などの関連事務を委任している地方公共団体情報システム機構へ、交付金を支払うとともに、窓口において個人番号カードの適切な交付を行った。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | マイナンバーカード交付枚数 | 枚 | | | 1,483 | 2,760 | 706 |
| | 登別市人口に対するマイナンバーカード普及率 | % | | | 3.0 | 8.6 | 10.0 | |

| | | |
|-----------------|--------|--|
| 課題等の状況 Check | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) マイナンバーカードを利用したサービスが順次始まっていくが、現状としては本人確認及びマイナンバー確認、署名用電子証明書を活用したE-Taxとしての利用が主である。 本人確認としては免許証などで可能であり、マイナンバーは通知カードにて確認することができるため、早急にマイナンバーカードが必要となることなく、普及率が伸びない状況である。 |
|-----------------|--------|--|

| | | | |
|----|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 目標 |
| | 継続 | ・コンビニ交付システムの構築を検討。 ・広報及び市民サービスグループだよりに定期的に掲載するなどし、より一層マイナンバーカード交付に向け周知を図る。 | 通知カード・マイナンバーカードの交付を円滑に行うとともに、マイナンバーカード交付促進に向け周知を徹底し、人口に対するマイナンバーカード普及率10%以上を達成する。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 |
| 継続 | 【3次評価】 | 総合 | ・コンビニ交付システムの構築を検討する。 ・マイナンバーカードを利用し、閲覧することができるマイナポータルに関する資料等を市民窓口に掲示する。 |

事務事業名 土地鑑定評価業務委託

| | | | | |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部税務G |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成28年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成—年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 固定資産税の宅地評価における「適正な時価」を求めるための基礎資料を整備することを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|---|-----------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成30基準年度の土地評価替えにあたり、不動産鑑定士に宅地評価額の算出基礎となる標準宅地について鑑定評価業務を委託する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・対象標準宅地数 161地点の鑑定評価を委託する。 ・価格時点 平成29年1月1日とする。 ・土地の種類 更地として評価する。 ・価格の種類 正常価格とする。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) ・地方税法第409条（固定資産の評価） ・固定資産評価基準 第1章第3節（地方税法第388条） | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|-----|-----|-------|-------|-----|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | 7,784 | 7,773 | |
| 合計 | | | 0 | 0 | 7,784 | 7,773 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|---------------------|--|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 本業務を委託することにより、平成30基準年度の評価替えにおける固定資産税評価基準に基づく適正な評価を行うための基礎資料が整備され、適正・公平な課税が担保された。 【改善事項】 不動産鑑定士からの提案報告を受け、次の理由のため現況に適した標準宅地への変更を行った。 ・家屋滅失、建替えのため。 ・地価公示地の変更があったため。 ・現ポイントが状類界沿いにあるため。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 登別市の土地の総数 | 筆 | 50,454 | | | 50,999 | |
| | 上記のうち、当該委託を基に評価した土地 | 筆 | 28,553 | | | 27,944 | | |

| | | |
|--------|--------|----------------------------|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|--------|--------|----------------------------|

| | | | |
|--------|--------|---|--|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ ・評価替え基準年度において、固定資産評価基準に基づく適正な評価を行うため、今後も評価替え作業スケジュールに合わせて、3年に1度本業務を実施する。 | 今後の目標・計画【Plan】 基準年度の土地評価替えにあたり、宅地評価額の算出基礎となる標準宅地について適正な鑑定評価を行う。 |
| | 継続 | 行政評価会議 | ・左記の今後の取組を3年毎に実施する。 |
| | 【2次評価】 | 継続 | 計画 |
| 【3次評価】 | 継続 | 総合 | |

事務事業名 航空写真図作成業務委託

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部税務G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 28 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|---|------|
| 目的 | 固定資産税の課税客体である土地・家屋の現況を正確に把握し、課税の適正性・公平性を確保することを目的とする。 | 前回評価 |
|----|---|------|

| | | | |
|----|----|---|-----------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市全域の航空写真を撮影し、前回撮影時からの家屋の経年異動判読調査を行う業務を委託する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・航空写真の撮影（一部の山間部を除く登別市全域）をする。 ・画像処理データ（撮影データ）の土地家屋管理システムへの取込み業務を行う。 ・標定点の測量をする。 ・写真地図データを作成する。 ・家屋の経年異動判読、判読リストを作成（家屋不一致物件の抽出）する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 地方税法第408条 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|--------|--------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | 12,107 | 11,988 | |
| | 合計 | | 0 | 0 | 12,107 | 11,988 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|-----------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 現況の正確な把握により適正・公平な課税が担保されるとともに、一方的な賦課課税である固定資産税において、現況を説明するための根拠を明確に示すことが可能となり市民との信頼確保に繋がった。 また、システムからの出力図やデータは各種行政課題等において全庁的に広く利用されており、市の行政運営上においても必要な資料という側面も有している。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 土地の異動件数（分筆、合筆等） | 件 | 638 | 1,588 | 1,538 | 1,364 | |
| | 家屋の異動件数（新築、滅失等） | 件 | 2,291 | 2,106 | 1,358 | 3,696 | | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 地方税法第408条においては、固定資産の状況を毎年少くとも一回実地に調査しなければならない旨規定されているが、これが実務上困難であることから、航空写真を活用した現況調査を計画的に進めるよう指導されているところである。そのため、当市においては評価替え作業スケジュールに合わせて、3年に1度本業務を委託し、課税客体の現況把握を行っている状況である。 |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|--|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ 当市ではこれまで評価替え作業スケジュールに合わせて、3年に1度本業務を委託し課税客体の現況把握を行ってきたが、今後も本業務の目的である適正・公平な課税レベルを確保するためには、最低でも3年毎の撮影サイクルを継続する必要があると考える。 | 今後の目標・計画【Plan】 目標 評価替え作業スケジュールに合わせて、課税客体の現況を把握するため本業務委託を行う。 |
| | 継続 | 行政評価会議 | 計画 ・左記の今後の取組を3年毎に実施する。 |
| | 【2次評価】 | 総合 | |
| 【3次評価】 | | | |

事務事業名 市税等賦課経費（資産税）家屋評価支援システムリース更新分

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部税務G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成27年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成31年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | 固定資産税の賦課業務において、限られた人員のもと迅速かつ適正・公平な家屋評価を行うことを目的とする。 | 前回評価 | 維持 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|--|--------------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 限られた人員のもと迅速かつ適正・公平な家屋評価を行うこと | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・新・増築された家屋の適正な評価を行う。 ・家屋評価調書の作成及び保存を行う。 ・家屋平面図の作成及び保存を行う。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 地方税法、固定資産評価基準 | (ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 納税義務者 |

| 事業費（財源内訳） | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | 1,284 | 1,284 | 1,284 | 1,284 | 1,284 |
| | 合計 | | 1,284 | 1,284 | 1,284 | 1,284 | 1,284 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 当市における家屋の新築棟数は年間200~300棟が見込まれており、建築工法の多様化や新建材の普及等により評価内容は年々複雑化・高度化している。また、納税者に対する信頼確保や説明責任の観点から、課税対象家屋の評価にあたっては、個々の家屋に応じた適正な評価が求められているとともに、評価調書や平面図については正確に作成し保存する必要があることから、家屋評価支援システムを継続使用している。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 家屋評価件数 | 件 | 388 | 378 | 387 | 226 | 230 |

| | | |
|--------|--------|----------------------------|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|--------|--------|----------------------------|

| | | | |
|--------|--------|--|-----------------------------|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 継続利用 契約期間：平成27年4月1日から平成32年3月31日 (平成28年度~平成31年度 債務負担行為) | 目標 適正・公平な家屋評価及びデータ管理を行う。 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 左記の今後の取組により継続利用 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 土地評価基礎調査業務委託

| | | | | |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 市民生活部税務G |
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 28 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

目的 市内に存在する宅地の大部分にあたる「市街地宅地評価法」により評価される土地について、課税の適正化・公平化及び課税業務の円滑な運営を図るための基礎資料を整備することを目的とする。

| | | | |
|----|----|--|-----------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成30基準年度の路線価を決定する業務を委託する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・用途地区及び状況類似地区の設定 13.9km ² (都市計画の用途地区面積) ・地価形成要因調査 390路線 (市内全域15%) ・標準地価格の設定及び分析計算 7宅地 132地区 (路線価方式対象標準宅地) ・実勢路線価格の算出 2,600路線 (市内全域) ・路線価図の作成 13.9km ² (都市計画の用途地区面積) | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) ・地方税法第409条 (固定資産の評価) ・固定資産評価基準 第1章第3節 (地方税法第388条) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | | 8,144 | 8,046 | |
| 合計 | | | | 0 | 0 | 8,144 | 8,046 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|---------------------|--|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 路線価比準表の作成、用途地区・状況類似地域の見直し及び地価形成要因等のデータ見直しを行った上で、国交省地価公示価格及び北海道地価調査価格並びに不動産鑑定価格を基に、路線価付設システムを使用し、現行(評価替え前)価格との格差や隣接路線間のバランスを保つためのシミュレーション計算を行ったことで、平成30基準年度の評価替えにおける固定資産税評価基準に基づく適正な評価を行うための基礎資料が整備され、適正・公平な課税が担保された。 【改善事項】 ○標準宅地の現地踏査報告を受け、次の理由により見直しが必要と思われる標準宅地について変更を行った。 ・家屋の滅失を反映 ・現ポイントが状類界沿いにある ○価格形成要因調査の報告を受け、次の理由により見直しが必要と思われる路線について変更を行った。 ・路線新設による変更 ・街路条件の変更 ・環境条件の変更 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 登別市の土地の総数 | 筆 | 50,454 | | | 50,999 | |
| | 上記のうち、当該委託を基に評価した土地 | 筆 | 28,553 | | | 27,944 | | |

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ ・評価替え基準年度において、固定資産評価基準に基づく適正な評価を行うため、今後も評価替え作業スケジュールに合わせて、3年に1度本業務を実施する。 | 今後の目標・計画【Plan】 基準年度の土地評価替えにあたり、宅地評価額の算出基礎となる路線価について適正な価格決定を行う。 |
| | 継続 | 行政評価会議 | ・左記の今後の取組を3年毎に実施する。 |
| | 【2次評価】 | 継続 | 計画 |
| 【3次評価】 | 総合 | | |

事務事業名 **事務用パソコン更新事業**

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部企画調整G |
|--------|-----|----------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成29年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成31年度 |
| 基本的な方向 | 1 | 行政機能の充実 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 公平、公正な行政運営と持続可能な財政運営 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 庁内で利用している事務用パソコンを更新することにより、安定した業務利用の継続を図ることを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|----|----|--|-----------------------------|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成29年度のパソコン更新に向けた更新費用の積算を行う。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・事務用パソコンの更新対象台数の精査を行う ・更新するパソコン及び付属機器の費用の積算を行う ・不要となるパソコンの廃棄に係る費用の積算を行う | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 職員 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-----------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | | | | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | | | | 522 |
| | 合計 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 522 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) ・事務用パソコンの更新対象台数の精査を行い、平成29年度から平成31年度において590台を更新対象とした ・更新するパソコン及び付属機器の費用の積算を行った ・不要となるパソコンの廃棄に係る費用の積算を行った ・徴集した見積を基に、事務用パソコン更新事業の全体額の積算を行った | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | パソコン更新による障害発生台数(ソフトウェア) | | | | | | 6 |
| | | パソコン更新台数 | | | | | | 200 |

| | | |
|--------|--------|--|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) 更新するパソコンの詳細な仕様について |
|--------|--------|--|

| | | | |
|--------|--------|---|---|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 事務用パソコン更新事業については、平成29年度から実施する予定であり、平成31年度までの3年間に於いて、Windows10搭載の事務用パソコン計590台の更新を行う。 | 目標 庁内で利用している事務用パソコンを更新することで、安定した業務利用の継続を図る。 計画 ・購入するパソコンの仕様決定及び入替対象パソコンの選定 ・パソコン購入に係る契約事務 ・入替作業及び不要パソコンの廃棄作業 ・入替後のメンテナンス及び稼働支援 ・平成29年度は200台を更新の対象とする ・平成30年度は200台を更新の対象とする ・平成31年度は190台を更新の対象とする |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 【3次評価】 | 継続 | 総合 | |

事務事業名 庁舎整備基金の創出

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部総務G |
|--------|-----|--------------------|-----------|----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 28 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 2 | 市有財産や公共施設の適正な活用 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 市有財産や公共施設の適正な活用 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | |
|----|--|------|
| 目的 | 今後見込まれる市役所庁舎の改築又は大規模改修に要する経費の財源に充てるため、基金に積立てを行うことを目的とする。 | 前回評価 |
|----|--|------|

| | | | |
|------------|----|--|-----------------------|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 基金を設置し積み立てを行う。 積立金額 20,000千円 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) |

| Plan ↓ Do 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|------------------------------|-------|--|----|-------|-------|--------|--------|--------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 地方債 | | 千円 | | | | | |
| | その他 | | 千円 | | | | | |
| | 一般財源 | | 千円 | | | 20,048 | 20,048 | 20,000 |
| 合計 | | | | 0 | 0 | 20,048 | 20,048 | 20,000 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|---|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 市役所庁舎の建設については、多額の事業費が必要となることから、平成28年度から基金を設置し積み立てを行った。 積立金額 20,048千円 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | | | | | | | |

| | | |
|-----------------|--------|----------------------------|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|-----------------|--------|----------------------------|

| | | | |
|----|--------|---------------------------|----------------|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 引き続き基金への積立てを行い、財源の確保に努める。 | 目標 |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | 計画 |
| 継続 | 【3次評価】 | 総合 | |

事務事業名 幌別駅自由通路耐震補強事業負担金

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部契約・管財G |
|--------|-----|--------------------|-----------|-----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 25 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 28 年度 |
| 基本的な方向 | 2 | 市有財産や公共施設の適正な活用 | 事業区分 | ソフト事業 |
| 主要な施策 | 1 | 市有財産や公共施設の適正な活用 | 大型事業推進プラン | 非登載事業 |

| | | | |
|----|--|------|----|
| 目的 | JR利用者並びに幌別駅自由通路利用者の安全性、併せて列車運行の安全性を確保することを目的とする。 | 前回評価 | 終了 |
|----|--|------|----|

| | | | |
|----|----|---|---|
| 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成28年度中に事業を完了する。 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) JR北海道の都合により平成27年度に終了しなかった工程について実施する。 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 建築物の耐震改修の促進に関する法律 | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) JR利用者並びに幌別駅自由通路利用者 |

| 事業費(財源内訳) | 名称 | 単位 | H27 | H27 | H28 | H28 | H29 |
|-----------|----|----|-----|--------|--------|--------|-----|
| | | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 |
| 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| 地方債 | | 千円 | | 20,900 | 31,300 | 31,300 | |
| その他 | | 千円 | | | | | |
| 一般財源 | | 千円 | | 6,988 | 10,532 | 10,454 | |
| 合計 | | | 0 | 27,888 | 41,832 | 41,754 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------|--------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) JR北海道が駅舎と自由通路を併せた耐震補強工事を実施し、登別市が管理している自由通路分を床面積割合等で費用負担を行った。 また、屋上防水塗装、内外装改修等を実施し、公共施設の長寿命化を図った。 上記内容は、JR北海道の都合により平成27年度中に一部工程が終了しなかったことから、平成28年度において実施した。 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | 【耐震指標判定】地震の震動及び挙動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性についての判定(判定1:危険性が高い、判定2:危険性がある、判定3:危険性が低い) | 判定 | | | 2 | 2 | 3 |

| | | |
|--------|--------|----------------------------|
| 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|--------|--------|----------------------------|

| | | | |
|--------|--------|---------------|----------------|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 終了 | 担当グループ | 目標 |
| | 平成28年度 | 行政評価会議 | 計画 |
| 【2次評価】 | 終了 | 総合 | |
| 【3次評価】 | | | |

| | | |
|-------|----------------|--|
| 事務事業名 | 幌別駅自由通路階段等改修事業 | |
|-------|----------------|--|

| 区分 | No. | 名称 | 部・グループ | 総務部契約・管財G |
|--------|-----|--------------------|-----------|-----------|
| 章 | 6 | 担いあうまちづくり | 会計種別 | 一般会計 |
| 節 | 3 | 担いあうまちづくりのための基盤づくり | 開始年度 | 平成 28 年度 |
| 施策 | 1 | 市民の信頼に応える行財政運営 | 終了年度 | 平成 ー 年度 |
| 基本的な方向 | 2 | 市有財産や公共施設の適正な活用 | 事業区分 | ハード事業 |
| 主要な施策 | 1 | 市有財産や公共施設の適正な活用 | 大型事業推進プラン | |

| | | | |
|----|--|------|--|
| 目的 | JR幌別駅西口東側階段等の取替工事を行い、JR幌別駅利用者並びに幌別駅自由通路利用者の安全等を確保することを目的とする。 | 前回評価 | |
|----|--|------|--|

| | | | |
|------------|----|--|---|
| Plan 概要 | 目標 | (平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 未実施 | |
| | 計画 | (目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 未実施 | |
| | 根拠 | (根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) | 対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) JR利用者並びに幌別駅自由通路利用者 |

| Plan Do 事業費(財源内訳) | 名称 | | 単位 | H27予算 | H27決算 | H28予算 | H28決算 | H29予算 |
|-------------------------|-------|--|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国庫支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 道支出金 | | 千円 | | | | | |
| | 地方債 | | 千円 | | | | | |
| | その他 | | 千円 | | | | | |
| | 一般財源 | | 千円 | | | | | |
| 合計 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | | | |
|---------------------|--------|-------------------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| Do 事務事業の成果・改善の状況 | 平成28年度 | (実績を簡潔に記入してください) 未実施 | | | | | | |
| | | 指標 | 単位 | H25実績 | H26実績 | H27実績 | H28実績 | H29目標 |
| | | | | | | | | |

| | | |
|-----------------|--------|----------------------------|
| Check 課題等の状況 | 平成28年度 | (事務事業の実施における課題点等を記入してください) |
|-----------------|--------|----------------------------|

| | | | |
|----|--------|---|----------------|
| 評価 | 【1次評価】 | 今後の取組【Action】 担当グループ | 今後の目標・計画【Plan】 |
| | 継続 | 本施設は建築から39年（昭和53年築）が経過し、耐用年数を経過していることから、利用者の安全確保の観点から、本事務事業が実施されるまでの間、定期的な安全点検等を実施する。 | |
| | 【2次評価】 | 行政評価会議 | |
| 継続 | 【3次評価】 | 総合 | |